

八杉貞利 （譯者） ロシヤ語學者。明治九年九月十六日東京生れ、昭和四十二年一月二十六日歿（八七—一九三三）。筆名杉八、赫舟、貞利等。明治二十二年東京帝國大學文科大學卒。翌年ロシヤ留學。のち東京外國語學校教授。昭和二十八年日本ロシヤ文學會初代會長。生物學者八杉龍一は長男。

著譯書 『通俗言語學』（宮田修各義、明治二十二年二月十日博文館）
 『通俗百科全書』、 『外國語教授法』（明治二十四年十一月）
 『實水館書店』、 『詩京パーキン』（明治二十九年六月七日時代思
 潮社）、 『デー、エヌ、トドロキ子著』 『露語發音解説』（譯、大正二年
 六月五日丸善株式會社）、 『露西亞及露西亞人』（大正二年十一月）
 『十五百富山房』 『時事叢書』、 『簡易日露會話』（編、大正八年五月
 十九日大倉書店）、 『新文法』 『據ル露西亞語之法』（編、大正十一年四月
 二十三日大倉書店）、 『サルトウイコ』
 作 『請願人』（譯、大正十二年十一月）
 『二十五百新潮社』 『海外文學新選』、
 『改譯西亞語階梯』（編、大正十四
 年五月二十日大倉書店）、 『トルスタ
 ヤ著』 『トルストイの思ひ出』（父と私との生活）（深見尚行共譯、昭
 和五年十一月二十日岩波書店）、 『岩波版トルストイ全集』 第一卷
 （教育論文と社會問題）（同、昭和十六年一月十日岩波書店）、 『岩
 波版露和辭典』（編、昭和十五年十月二十日岩波書店）、 『岩波版大
 型露和辭典』（編、昭和十一年十月一日岩波書店）、 『グリボイエーデ
 フ作』 『智慧の悲しみ』（譯、昭和十四年六月十四日改造社『改造文庫』）。



再刊。二十二年四月一日京都・世界文學社「世界文學叢書」(、) 可
シヤ文法」(木村彰一共著、昭和二十八年六月十五白岩波書店)、可
波口シヤ語辭典(昭和二十五年四月二十六日、机上版、五月十日、増
訂版、四十年十月二十日岩波書店)、可新縣志雜記」(和久利哲一編、
昭和四十五年八月二十一日春風書房)等。